



城北こども園さんが遊びに来てくれました。

9月1日(火)。七戸養護学校のお向かいにある、城北こども園の年長さんが、校内散策に来てくれました。

七戸養護学校はただいま増築工事中です。そのため、大きなクレーン車が常駐しています。こども園のこどもたちは、園のお庭からクレーン車を観察していたようです。「クレーン車を少し間近で観てみる」ということは、とってもわくわくするイベントのようでした。

この日はクレーン車の見学だけではなく、校内の散策をしました。通りかかった七養の児童生徒とあいさつを交わしたり、校内に飾られている児童生徒の作品を鑑賞したりしました。

七養北側の校舎の二階から城北こども園を眺められます。校内散策の最後に、来校したこどもたちと、園にいるこどもたちで手を振り合いました。こどもたちにとって、経験したことのない面白い経験になったのなら幸いです。

直接的な交流授業ではない今回のような何気ない機会も大切な関わりのように考えています。場所や設備の共有は、お互いの教育効果を高めると言われています。

「多様性の理解」について重要性が指摘されている昨今です。こういった活動がもっと活発になることが、「多様性の理解」にもつながると考えております。



おしらせ

★応援団の募集

本校の草刈り、清掃などのボランティアをして頂ける方、校内に作品の展示をして頂けるサークル等の方を引き続き募集しております。

ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。



コミュニティスクールってなあに? Q & A



コミュニティスクールを導入することで、教職員の負担が増すのではないですか?



学校運営協議会の仕組みを導入している学校をコミュニティスクールと言います。学校運営協議会では、職員の健康、働き方に関するについても協議します。本校の学校運営協議会委員は、地域で事業を運営している方やPTA、同窓会、町内会に関わる方など10名で構成されています。第一回目の協議会では、校長を中心に職員のワークライフバランスについても話題に上がりました。

七戸養護学校では、「支え合い、効率よく、元気に働く職場へ」をスローガンとして掲げております。